

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

昭和中学校区 校番22 学校名 呉市立昭和西小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	児童の実態、小中一貫の目指す資質・能力から、学力・心・体の目標を設定している。 指標には、テスト、質問紙、教師の見取りと多角的に見取り、数値を設定している。 目標値が高く設定してある項目が一部ある。
目標達成のための方策の適切さ	A	中間評価の結果を分析後、教職員の共通理解を図り、改善策に取り組んでいる。 授業では、めあてからまとめまでの学習の流れの定着や、児童が自分の考えを発表する力の育成が図られている。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	児童への指導を視覚的にとらえられるよう工夫しているので、結果がさらに伸びていくと考えられる。 児童の実態把握のため、結果のデータ化が工夫されており、分かりやすい分析ができています。
今後の改善策(案)の適切さ	A	結果の分析から、課題を明らかにし、改善策を立てている。 今回も結果に応じてしっかり改善策を講じているので、今後につながる。
その他		教職員不足でありながらも、全力で児童に向き合い育てている。 児童に付けたい力を付けることや児童に一人一人に個別に声を掛けること、また、業務改善につながるような組織的な教育活動が行われるよう、早期に教員不足が解消されることを願う。 教職員が、自信をもって、明るく働く姿が、児童の目指す姿になると思うので、応援している。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	成果のあった取組については、今後も継続し、組織的、計画的に取組を進めていく。 今年度、自己評価達成値が目標値より低かった項目と、各部で検討した改善に向けての新しい取組を推進する。
--------------------	--